

2023 年度 第 4 回 OR 学会理事会 議事録

日時：2023 年 10 月 27 日(金) 17:00~19:00

場所：中央大学とオンラインのハイブリッド開催

出席理事(対面)：山上(会長)，猿渡(副会長)，三好(副会長)，所(庶務理事)，宮川(庶務理事)，堀(研究普及理事)，林(研究普及理事)，関谷(編集理事)，後藤(会計理事)，谷崎(支部理事)，佐々木(大会理事)，鳥海(無任所理事)

出席理事(オンライン)：森永(副会長)，鶴飼(国際理事)，辻野(渉外理事)，塩野(広報理事)，木庭(大会理事)

欠席理事：牧野(編集理事)

出席監事(対面)：根本

欠席監事：三嶋

オブザーバー(オンライン)：石井(北海道支部長)，古藤(東北支部長)，山下(関西支部長)，宮野(九州支部長)

事務局(対面)：長谷

書記(対面)：山中(庶務幹事)

【オブザーバーについて】

山上会長より，本部と支部の交流を深める目的で支部長に本理事会に参加いただくとの説明があり，各支部長 4 名のオブザーバー参加が承認された。

【審議事項】

A-1. 前回議事録の確認(所庶務理事)

所庶務理事より，前回議事録の確認があり，承認された。

A-2. 入会・退会承認の件(所庶務理事)

所庶務理事より，2023 年 10 月 2 日までの入会・退会状況についての説明があり，承認された。

- デンソーの山本様については社会人ドクターということで，学生証を確認したうえで学生会員として扱う。
- 会費未納による強制退会については次回の理事会で改めて審議するものとし，本理事会では保留とする。
 - 事務局としては可能な範囲で対応を行ってきたため，個人的なつながりなどにより次回理事会までに会費を納める意志の確認ができなかった方のみ強制退会の対象とするため。

A-3. シニア会員承認の件(所庶務理事)

所庶務理事より、シニア会員についての説明があり、承認された。

- 庶務幹事会にて「20年以上正会員」という定義についての審議・決議を行う。

A-4. 2023年度Q2収支の件(後藤会計理事)

後藤会計理事より、2023年度Q2収支について説明があり、承認された。

- 秋季研究発表会の収支について、Q2時点で入金および支出のあったものについてはQ2で計上している。
- 山上会長より、前年度についてはどの時期に計上しているか不明ではあるが把握できる範囲で前年とタイミングを合わせて比較するよう指摘があった。
 - 長谷事務局長より、Q3での比較では秋季研究発表会についてはほとんど計上されているはずなのでそこでの比較で改めて確認する旨、説明があった。
 - ☆ 山上会長より、前年度の秋季研究発表会の補助金の計上時期については次回理事会までに確認を行うよう指摘があった。

A-5. 2024年度予算作成の件(後藤会計理事)

後藤会計理事より、2024年度予算作成について説明があり、承認された。

- 表彰の賞金については規程を変える必要があり、次回理事会にて承認が必要となるが、予算作成については承認されることを前提に提出する。
- 鳥海無任所理事より、支部事業費については規程が現状と乖離している部分があるため、規程の改定を進めるよう、指摘があった。

A-6. 2023年度第3回ORセミナーの件(堀研究普及理事)

堀研究普及理事より、2023年度第3回ORセミナーについて説明があり、承認された。

A-7. 2024年春季研究発表会・シンポジウム予算案(林研究普及理事)

林研究普及理事より、2024年春季研究発表会・シンポジウム予算案について説明があり、承認された。

- 会場費関連で主催・共催の変更が可能かどうか内閣府に問い合わせを行う。
- 講師の宿泊費については2022年度6回理事会(A-7)で議論し、理事経由の実行委員長判断で上限を12,000円とすることとなっている。
 - 鳥海無任所理事よりORセミナーも同じく議論されているためマニュアルおよび内規については理事判断で修正するよう、指摘があった。
- 鳥海無任所理事より、アルバイト代については最低賃金に気を付けるよう、指摘があった。
- 猿渡副会長より、名誉会員の研究発表会への招待について相談があった。

A-8. 2024 年秋季研究発表会・シンポジウム計画案(林研究普及理事)

林研究普及理事より、2024 年秋季研究発表会・シンポジウム計画案について説明があり、承認された。

- 佐々木大会理事より予算の見通しについて以下の通り共有があった。
 - 南山大学は教室の使用料は無料となっており、余裕をもって確保している。
 - 懇親会は南山大学内の学食(リアン)での開催を検討している
 - 12/1 までに予算案を大学に提出することで最大 100 万円程度の補助(学会開催援助金)が出る可能性がある。
 - ◇ 学会開催援助金については開催 1 か月前に受け取ることができる

A-9. 研究発表会での表彰者講演の時期について

林研究普及理事より、研究発表会での表彰者講演の時期について説明があり、承認された。

- 表彰者が 12 月ごろに決まるため、近藤賞は秋季での発表がよいと思われるが、順番を固定する必要はない。
 - 研究普及委員会と表彰委員会で決定する。

A-10. IFORS 規約の改訂と IORA の加盟に関する投票について

鶴飼国際理事より、IFORS 規約の改訂と IORA の加盟に関する投票について説明があり、承認された。

【報告事項】

B-1. 会長候補者選考委員会報告(猿渡副会長)

猿渡副会長より、会長候補者選考委員会について報告がなされた。

- 詳細については次回理事会で議論を行う。

B-2. 2024-2025 年度役員選挙日程(根本監事)

根本監事より、2024-2025 年度役員選挙日程について報告がなされた。

B-3. 2023 年度前半代表理事職務執行状況の報告(山上会長・猿渡副会長・三好副会長・森永副会長)

山上会長・猿渡副会長・三好副会長・森永副会長より、2023 年度前半代表理事職務執行状況についてそれぞれ報告がなされた。

B-4. 特定資産活用計画検討タスクフォースの活動報告(鳥海無任所理事)

鳥海無任所理事より、特定資産活用計画検討タスクフォースの活動について報告がなされた。

- 次回理事会にて使途については決議を行う。本日はそれに向けての意見収集の場としている。
- 計画案の#3については内閣府に出している事業計画の修正が必要となっており、時間・手間ともにコストがかかる
 - 企業事例交流会という位置づけで進めることも検討している
- 別案として以下があげられる
 - 70周年記念事業(2027年度)
 - IFORSの誘致

B-5. 2023年度機関誌編集委員変更の件(関谷編集理事)

関谷編集理事より、2023年度機関誌編集委員変更について報告がなされた。

B-6. 2023年度広報委員変更の件(猿渡副会長)

猿渡副会長より、広報委員変更について報告がなされた。

B-7. 普及事業に係る細則の改定の件(堀研究普及理事)

堀研究普及理事より、普及事業に係る細則の改訂について報告がなされた。

- 宿泊費についても改定を行う。

B-8. 2023年秋季研究発表会の報告(林研究普及理事)

林研究普及理事より、2023年秋季研究発表会について報告がなされた。

B-9. 学生セッション・キャリアセッションについて(林研究普及理事)

林研究普及理事より学生セッション・キャリアセッションについて報告がなされた。

- 学生セッションについて
 - 発表者が学生会員の場合、エントリーする段階で学生セッションまたは一般のセッションを選べるようになっており、学生セッションを選択した学生は審査対象としていた。
 - この施策により学生会員は増加した。
- キャリアセッションについて
 - 賛助会員に宣伝したいところを募り、全体セッションとして用意し、部屋を分けて個別セッションを実施した。
 - ☆ リクルートや大学教員との交流を目的とする企業が多かった。
 - ☆ 賛助会員へのインセンティブとして実施した。

B-10. 次回理事会の件(所庶務理事)

所庶務理事より、次回理事会について説明がなされた。

- 鳥海無任所理事より、規程の変更やタスクフォースの報告もあるため資料に記載された項目よりもボリュームが増えることが想定されると指摘があった。

以上

書記：山中 寿登

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2023 年度第 4 回理事会

議事録署名人

議長(会長) 代表理事 山上 伸

(副会長) 代表理事 猿渡 康文

(副会長) 代表理事 三好 直人

(副会長) 代表理事 森永 聡

監事 三嶋 英俊

監事 根本 俊男